

ハードディスクデュプリケータの先駆者
お客様の信頼と感動をいただける

クオリティの高いストレージ応用 ソリューションの提供

ワイ・イー・シー

ワイ・イー・シー(町田市鶴間、仁部浩一社長、042・796・8511)は、平成4年に創業、国内で初めてハードディスクのデュプリケータ(複製機)を開発し、その商品は機能、性能はもちろんのこと品質や信頼性においても、他社の追随を許さず高い評価を得ている。現在は事業領域として、ハードディスクのデータコピー、消去、解析、データの復元、検査ツールなど幅広く請け負っており、大手パソコンメーカーをはじめ、政府機関や教育機関に納入し、国内トップシェアを占めるに至っている。平成22年には中国(北京)に販売拠点を開設し、海外展開も開始した。

同社のモットーは「情報価値の創造と最大化」。つまり、それぞれのお客様がもつ情報に「資産たる価値」を創造し、その存在価値・利用価値を最大限に高めることであるという。実際、同社が生み出してきた商品の数々は、

お客様を理解し課題を把握すること、同社の柔軟な発想力と確かな技術が合わさった結晶と言える。今年1月に発売されたデータ漏洩防止ツール「Demi PG520」もその一つで、この商品では、データの複製と消去ができるのだが、小型、低コストでありながらボタン1つで操作できてしまうという手軽さが特長だ。

近年では様々な場所でパソコンが使われるので、どのような環境下においてもしっか

りとデータ管理ができるよう開発された。また同社ではメーカーとしての豊富な技術を活かして、出張サービスで情報の復旧やデータ消去等も行っている。(お問い合わせは、<http://www.kk-yec.co.jp/>)

同社には別にコモディティ(便利な物)という事業分野がある。商品開発の過程で用いられる技術から生まれた「マイクロファイバークリーニングクロス」や、財布の盗難やカードのスキミング防止機能もついた「パスガード」等、一見本業と関係がなさそうな商品だが、日頃のちょっとしたヒントから商品を生み出すというプロセスは本業の商品開発にも活かされてくるのだ。同社の商品を我が子のように愛しそうに見つめながら話してくれた仁部社長。その視線はすでに世界に向けられている。



同社製ハードディスクデュプリケータ